

《沿革》

明治	33年 (1900)	2月	第15代住友吉左衛門氏から、大阪府に対し、図書館の建物一式並びに図書購入基金寄附の申出
	37年 (1904)	2月	建物竣工、開館式典挙行
		3月	「大阪図書館」開館
	39年 (1906)	12月	「大阪府立図書館」と改称
大正	5年 (1916)	3月	第2号書庫を増築
	11年 (1922)	10月	住友家の寄附により、左右両翼の建物を増築
昭和	2年 (1927)	10月	第3号書庫を増築
	25年 (1950)	8月	天王寺分館開館
	26年 (1951)	10月	自動車文庫を開設、府内市町村を巡回
	31年 (1956)	6月	商工資料館を増築、講堂と商工資料室を開設
	35年 (1960)	12月	本館事務棟を増築
	37年 (1962)	2月	本館、主題別開架閲覧制度を実施
	49年 (1974)	4月	「大阪府立中之島図書館」と改称(新館は「夕陽丘図書館」として独立開館)
		5月	本館、左右両翼の3棟が国の重要文化財に指定
平成	2年 (1990)	4月	図書の分類にNDC(日本十進分類法)を導入
	8年 (1996)	5月	東大阪市に「大阪府立中央図書館」開館 中之島図書館は、大阪資料・近世和漢書資料を中心にリニューアルオープン
	11年 (1999)	3月	大和銀文庫基金設立 5年間で収集開始
		4月	中之島図書館ホームページ開設
		5月	棟札(明治36年8月挙行の上棟式に使われた)が国の重要文化財に指定
	13年 (2001)	7月	大阪府立図書館ホームページ開設(インターネット検索の開始)
	16年 (2004)	2月	百周年記念式典
		4月	ビジネス支援サービス開始
	19年 (2007)	3月	大阪府立大学学術情報センターと大阪府立両図書館が相互協力を協定
	23年 (2011)	3月	「大阪の未来をつくる図書館をめざして—大阪府立図書館の基本方針と重点目標—」(平成22年度～24年度)を設定